

老人福祉総合エリア について

北鹿地区二市三町で構成する「秋田県北部老人福祉総合エリア誘致促進協議会」では、老人福祉総合エリアの誘致運動を進めてきましたが、今年三月の県議会で、大館市に設置するという方針のもとに、基本構想策定事業費として百万円の予算が計上されました。



老人福祉総合エリア建設予定地

建設場所については「大館市老人福祉総合エリア検討委員会」が慎重に検討した結果、北鹿地区二市三町の中心に位置し、交通の便もよく、歴史と伝統のある大滝温泉周辺が、
①温泉を活用できる
②基幹病院である秋田労災病院がある
③周辺に各種福祉施設があり、

保健・医療・福祉の総合的な拠点施設整備に適しているなどの理由から、大滝から平内、成章小学校手前までの約二十三ヘクタールの土地が最適であるとの結論に達し、「秋田県北部老人福祉総合エリア誘致促進協議会」の承認も得られたことから、市としても正式に建設用地として決定しました。

また、県の諮問機関である「秋田県老人福祉エリア懇談会」でも、北部老人福祉総合エリア整備のため、今年度は建設基本構想を策定することが決定されています。

高速交通体系を含めた 道路の現状について

全国の主要都市間を片道三時間以内、地方都市から複数の高速交通機関へのアクセス時間をおおむね一時間以内とし、更に県都秋田市と県内都市、及び県内各都市間をおおむね九十分以内で結ぶことを目標に、高規格幹線道路の整備が計画されています。

この整備計画に基づき、大館西バイパスは高規格道路の中に位置づけられ、昭和六十二年度に計画変更され、国道7号大館西道路として建設されることになりました。延長六・二四キロメートル、幅員二十二メートルの

四車線の自動車専用道路として、南北にインターを設置し、国道103号大館南バイパス及び国道7号に接続する道路です。片山地内国道7号から釈迦内間の一部の用地買収及び支障物件の移転を終え、用地の取得は全路線の六五%の進捗となっています。

根下戸新町から沼館間には、幅員八・五メートル二車線の側道が建設され、このうち片山地内国道7号から沼館間については、平成六年度の供用開始を目指しています。併せて、市道御成町沼館線も、この側道と同時に供用開始できるよう努力しています。



市道御成町沼館線工事現場

また、国道103号南バイパスは延長九・九五キロメートル、幅員二十五メートルの準高規格道路として建設されています。山王岱橋、山館館釣地内の土木工事も本格化しており、平成五年度も、これらの工事のほかに

東バイパスランプ橋の架設を行い、山館から国道103号池内地内までの延長三・六キロメートルについては、幅員十二・五メートル二車線で、平成七年度暫定開通に向け、工事を進めています。また、東バイパスランプ橋から餌釣方面への取付道は、市道東台山館線道路改良工事として今年度から着手しています。

東バイパスは延長三・六七キロメートル、幅員二十五メートルで、市道の改良として行われているものです。このうち、都市計画街路豊町東台線七百一メートルは、昭和六十二年十二月に供用開始されており、市道狐台長根山線、延長一・五キロメートルも平成四年度に完成しています。

平成七年度には、南バイパスの一部も供用開始される見通しで、大館環状線（リングロード）の一部となることから、東台から樹海ライン、更に将来的には、釈迦内の国道7号への具体的ルートの設定が必要であり、関係機関と協議中です。

また、大館環状線に連結される市道の改良については、東台地内から市街地に入る新町線街路築造事業で、平成二年度から用地買収、支障物件移転などに着手しており、平成六年度に一部道路改良工事に着手する予定です。

学校給食未実施校の 解消計画について

学校給食未実施校解消については、これまでに、成章小学校、成章中学校、川口小学校、下川沿中学校、南小学校、南中学校の六校のPTAから、親子方式（隣接校をペアにした共同調理場）による実施を要望する陳情がなされています。

これを受けて、その実施計画について検討を重ね、年次計画の作成を終えたところです。

北海道南西沖地震 災害義援金について

今年七月十二日、北海道南西沖を震源地として発生した大規模地震による被災者救援のため、本市では、日赤大館市地区が中心となり、義援金を募りました。八月末現在で、義援金総額は五百五十六万四千七百三十九円に達し、日赤秋田県支部を通じて現地へ送金されました。

その他の行政報告

- ▽米代川流域地方拠点都市地域指定について
- ▽公共事業の発注及び進捗状況について
- ▽大文字まつりについて